

大丸有 SDGs ACT5 連携企画 ACT5×ひとまちプロギング 2025 開催レポート －大手町・丸の内・有楽町エリアで企業横断の SDGs 活動を推進－

三菱地所プロパティマネジメント株式会社は、当社所管物件の所在する大手町・丸の内・有楽町エリア（以下「大丸有エリア」）にて、ジョギングしながら街のクリーンアップを行う「ACT5×ひとまちプロギング 2025※¹」を本年 10 月 22 日に開催しました。

当社では、“ひとへの想い”を通じて、“まちに笑顔”を増やすために、事業活動を通じて多様なステークホルダーの方々と「ひとまち※²」を冠した各種取り組みを行っており、本企画も当該一環として、大丸有エリアを起点に SDGs 活動推進に取り組む「大丸有 SDGs ACT5※³（略称「ACT5」）」と連携して実施しました。

当日は大丸有エリアの当社所管物件にご入居いただいている企業 17 社から約 70 名が参加。企業単位で編成した 4 チーム（各 20 名）が、大丸有エリア内でプロギングを実施。拾ったごみの重量を競う他、その種類でポイントを競う「ゴミビンゴ」や、制限時間内に大丸有エリアの魅力スポットを回りチーム毎に写真を撮って得点を競う「フォトポイントチャレンジ」などゲーム性を取り入れたプログラムで、楽しみながら地域環境美化に取り組みました。

活動終了後は、結果発表と表彰式を行い、優秀チームの表彰や参加者同士の交流を深める懇親会も開催。SDGs 活動への理解と意欲が高まり、同じエリアで働く企業間のコミュニケーション促進にも繋がりました。



▲集合写真



▲プロギング

当社は今後も、当社社員（ひとまちアンバサダー※⁴）やステークホルダーの皆様と共に、まち・ビル・施設をご利用される方々へのおもてなしの他、ライフスタイルの変化に対応した新たなサービスの展開等を通じて、安全・安心、そして快適な持続可能なまちづくりを推進してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

三菱地所プロパティマネジメント株式会社 アンバサダー事務局（総務部）

mail : ambassador@mjpm.co.jp



▲ゴミビンゴ・フォトポイントチャレンジ



▲懇親会・表彰式

※1：プロギングとは



「プロギング」とは、スウェーデン語の「plocka upp (拾う)」と英語の「jogging (走る)」を組み合わせた造語で、ジョギング(※)しながらゴミを拾うスウェーデン発祥の、新しい SDGs フィットネスになります。2016 年からスタートし、その活動は世界中に広がり今や世界 100 か国以上で楽しまれています。

※当日は常に走る必要はなく、早歩きをしたり、歩いたりご自身のペースで参加頂けます

※2・4：ひとまち／ひとまちアンバサダーとは



「ひとまち」とは、お客様をはじめとする“ひと”や、私たちが携わる“まち”への想いを、日々の行動や取り組みの中でカタチにしていけるための共通のシンボル(想いの象徴)です。

この「ひとまち」と、三菱地所グループのブランドスローガン「人を、想う力。街を、想う力。—私たち三菱地所グループは、チャレンジを続けます。」に込められた共通の想いを、多様なステークホルダーの方々と共に体現していく役割を担う三菱地所グループ社員を「ひとまちアンバサダー」と称し、“ひとへの想い”を通じて、“まちに笑顔”を増やすために、事業活動を通じて持続可能なまちづくりを共創する取り組みを行っています。

HP: <https://www.mjpm.co.jp/company/sustainability.php>

※3：大丸有 SDGs ACT5 とは



大丸有エリアに拠点を置く企業が集まり、SDGs の目標期限である 2030 年の 10 年前にあたる 2020 年 5 月に発足しました。大丸有エリアを軸に、企業が主体となって取り組むことで、企業間連携による SDGs 活動の相乗効果を検証し、長期的に実現可能な SDGs モデル都市の構築を目指します。「サステナブルフード」「環境」「ひとと社会の WELL」「ダイバーシティ&インクルージョン」「コミュニケーション」の 5 つの ACT(テーマ)を設定し、各アクションの実践、効果の検証、社会課題の構造的な問題を明らかにすることをミッションとしています。 <https://act-5.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

三菱地所プロパティマネジメント株式会社 アンバサダー事務局 (総務部)

mail : ambassador@mjpm.co.jp